

「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 北海道観光に関する 訪日外国人旅行者の意向調査（平成 29 年版）」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、このたび「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 北海道観光に関する訪日外国人旅行者の意向調査（平成 29 年版）」と題したレポートを発行しました。

DBJ では、平成 24 年よりアジア 8 地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施しており、平成 27 年からは公益財団法人日本交通公社（JTBF）と共同で調査を実施しております。本年は、昨年引き続きアジア 8 地域にアメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの 4 地域を加えた 12 地域を対象に 6 回目となる調査を JTBF と共同で実施しました。

DBJ 北海道支店では、この調査結果を踏まえ、北海道観光に対する訪日外国人の認知度、訪問意欲、期待等に関する内容を分析しました。調査結果から得られた主な要点として、以下の 3 点が挙げられます。

- (1) 「北海道」は、アジア圏においては引き続きゴールデンルートに次ぐブランド力を有しているが、欧米豪圏における認知度・訪問意欲は依然として低位にある。個別の道内観光地については、訪日回数の増加に伴い認知度が上昇しているにも関わらず、訪問意欲が上昇しない観光地が散見される。
- (2) 個人旅行の割合はさらに拡大している。個人旅行化に伴い、地元住民が普段利用している公共交通機関を訪日外国人旅行者が利用する機会が増加するなど、従来の観光地以外でも多言語対応や利便性向上の対応が求められている。
- (3) 北海道に優位性のある自然・風景、温泉等の観光資源については訪日外国人旅行者の期待に一定程度応えられているが、今後は日中だけでなく夜まで楽しめるコンテンツの充実が課題といえる。

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「拠点レポート（北海道）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/hokkaido/>）に掲載していますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

北海道支店 企画調査課 電話番号 011-241-4117